



安心院地域ふれあい文化祭

安心院地域ふれあい文化祭の開催をお知らせします。

芸術の秋

11月26日(土) 9:00~17:00
27日(日) 9:00~15:00

会場 安心院地域複合支所 多目的ホール



新型コロナウイルスの感染防止の為、今年度は展示部門のみとなります。津房地区公民館からは油絵教室、編み物教室、句会の作品が並びます。是非ご来場ください。

10/13 料理教室より『睡眠と免疫力の関係』

睡眠と免疫力は深く関係しています。



カリフォルニア大学で、睡眠時間と風邪ウイルスの発症率を調査したところ、睡眠時間が5時間未満の人たちは7時間以上の人たちに比べ、発症率が3倍にもなりました。

昔から「風邪は寝て治す」と言うが、寝ている間に獲得免疫が働いていると考え、風邪を治すには睡眠をとるのが最適といえる。さらに予防接種をしても、睡眠が十分でないと抗体反応が弱く、その効果が認められなかったという報告もある。

未知のウイルスへの感染対策として十分な睡眠を確保して、免疫力を高めておくことが有効なのです。

おめでとうございます!



14日に別府ビーコンプラザで行われた大分県地域福祉推進大会で、地域福祉に尽力された団体として『尾立老人クラブ』が表彰されました。おめでとうございます!

式典帰りの尾立老人クラブ・田口会長さんをパチリ



津房ふれあい文化祭

津房ふれあい文化祭の開催をお知らせします。

・10月29日(土) 9:00~
津房小学校 体育館

津房っ子の発表や作品のほか、公民館講座で製作された作品も並びます。是非ご来場ください。

消防訓練を実施しました



11日に消防訓練を実施しました。今年は油絵教室の皆さんに参加してもらい、消防南部分署職員の方のご指導の下、避難訓練、消防署への通報訓練、水消火器による消火訓練を行いました。訓練後、参加された油絵教室の生徒さんより、様々な質問があり、消防職員の方が解説してくださって、参加者一同で防災意識を高めました。

Thank you



「人権愛の花」をいただきました

12日に宇佐市人権擁護委員協議会より宇佐産業科学高校の生徒と一緒に育てたサルビアのお花をいただきました。サルビアの鮮やかな花色は玄関を明るくしました。ありがとうございました。



津房句会

大隈草生 選
八月例会

蜻蛉の急反転や見失う・義彦

(評)午後のある時刻になると急に蜻蛉の数が増す。急ぐ→蜻蛉、たまに雄雌がつかなくて飛ぶこともある。すべての蜻蛉にはそれぞれの用があって飛んでいるのだろ。う。その個々の動きを見届けることは困難である。

矢印は梨農園の直売所・征子

朝夕の涼しさすずしく挨拶す・茂代

里帰り浴衣で踊る友に逢う・茂

海昏れて浴衣の似合う風となる・一圭

閑け放つ仏間一巡盆蜻蛉・草生



え、こんな時期に!? ひまわり

【花言葉】
憧れ、情熱、
あなただけを見つめる

今月の
相原さんの作品

ふくろうと秋

ふくろうにとって秋は忙しい季節。
初夏に孵ったヒナは9~11月には親から離れて
独立する。
また冬に備え、秋にはたくさん
の獲物を捕獲して皮下脂肪を蓄え、
冬支度をしている。



小野さんの

津房の昔ばなし

18. 百姓のストライキ (六郎丸)

やってられねえ!と言ったか分からないが、60名もの六郎丸村の百姓男女が隣村の唐川(豊後国山香)に逃げ込んだ。中津藩の検見(米の取入前に米の出来具合を調べ年貢の額を定める)の不正に怒って集団逃亡。江戸時代初期の延宝2年(1674年)10月5日のことである。日出藩郡奉行・笠置九兵衛は百姓たちを諭し、数日経て皆去る、と山香郷土史に記している。

歴史では逃散と言ひ消極的反抗運動である。

江戸時代は百姓が村を離れると年貢が取れないので厳罰に処した。深見郷鳥越村では30名が山蔵村(島原藩佐田)に逃散。13名を打首にした。当時中津藩は「百姓と胡麻油は絞れば絞るほど取れる」などと重税を課していた。六郎丸は津房郷では豊かな村なのに百姓は苦難の時代であった。



ありがとうございます!

「使っていないので、公民館で使ってください」と掃除機を頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます! 会議室に置いております。ご利用ください。



あ り が と う



今後の予定

10月29日(日)	津房ふれあい文化祭
11月13日(日)	粗大ごみ収集